

身体拘束廃止に向けての宣言

○身体拘束廃止にむけ、人間としての尊厳を大切にします。

- ・人としての尊厳を大切にし、利用者様が安心して安楽な生活が実現できるようにします。
- ・利用者様のご家族に対し、身体拘束廃止についての協力関係を築きます。

○身体拘束廃止にむけ、質の高い介護を追求します。

- ・介護事故が発生しない工夫をします。
- ・全職員が利用者様一人一人の心身の様子を理解し、職種を超え話し合いを行い、問題意識を共有し、信頼と心のふれあいが実感できる質の高いサービスの提供を追求します。

○身体拘束廃止にむけ、強い意志でチャレンジし続けます。

- ・いかなる場合においても、「身体拘束をしない」という意志を持って介護技術の向上に努めます。
- ・最新の知識と技術を職員が学ぶ機会を設け、積極的に取り入れ、快適な生活の実現に向けて取り組みます。

身体拘束の定義

- 1 ベッドに体幹や四肢を紐などで縛る
- 2 ベッドでベッド柵4本で囲む
- 3 ベッドに柵をして、取り外しが出来ないように固定、または高い柵をつける
- 4 手指の機能を制限するミトン手袋をつける
- 5 車椅子や椅子かた立ち上がれないように、安全ベルトやテーブルをつける
- 6 車椅子を自操できるのに、車椅子を固定し動かさないようにする
- 7 立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する
- 8 脱衣やオムツ外しを制限するために、拘束衣（つなぎ服）を着せる
- 9 行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる
- 10 鍵がかかる部屋に隔離する
- 11 指示・命令など威圧的な言動、対応をする
- 12 要望に対し、無視、無関心、支援拒否などをする
- 13 ご家族の付き添いが必要という理由で、家族の生活を拘束する。